

### ① ロットネスト島

Merilyn 先生 1 番のお気に入りのスポット。「他とは違う、色や光、砂浜や植物があります。自分だけの空間も作れ、優雅に自然を満喫しながら、ゆっくりと描けるスポットです」

### ④ キングス・パーク

「パース市内とスワン川を一望できる緑豊かな公園。四季折々の西オーストラリア特有の植物が見られるのも魅力です。スケールの大きい風景を描いてみてはいかがでしょうか」

### ② コテスロー・ビーチ

「美しい海、ビーチが印象的なスポットです。パース市内から電車で行けるので便利なロケーションです。夕日をバックに美しいビーチの風景を描いてみてはいかがでしょうか」

### ⑤ ギルフォード

「ワインの産地、スワン・バレーが至近で、歴史ある古い町並みが特徴です。駅前にも鬱陶気のある建物が並び、緑を背景にした風景は、一見の価値ありです」

### ③ フリーマントル

「歴史的建造物が町に溢れている港町です。歴史などを踏まえた上で、気に入った建物をじっくり観察して、描いてみてはいかがでしょうか」

### ⑥ サウス・パース

「パースよりスワン川を挟んだ南のエリアで、対岸のメンズストリート・フェリー乗り場付近は、パースの全景を見渡せる人気のスポットです。ここからの夜景も美しいです」

### ⑦ ブロードウェイ 栈橋付近 (ネッドランズ) Broadway Jetty Nedlands

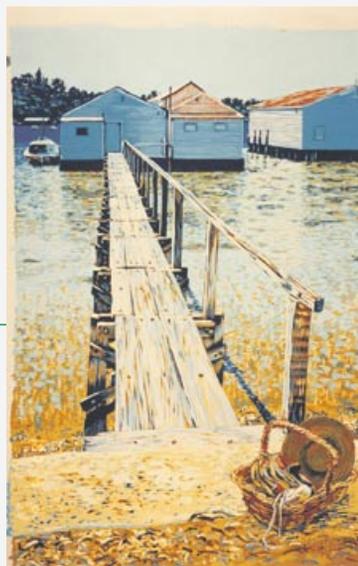
「レストランやハーバーが隣接しています。穏やかに流れるスワン川に浮かぶヨットたちは、非常に絵になります」



作：Merilyn McKie

### ⑧ フレッシュウォーター・ベイの艇庫 (ペパーミント・グローブ) Freshwater Bay, Peppermint Grove Boatshed

「ヨットの発着場として多くの人が訪れ、ヨットレースなども開催されているスワン川の入り江です」



作：Merilyn McKie

### Merilyn先生 からの アドバイス



「とにかく絵を描くことを楽しんでください。上手、下手ということは全く問題ではありません。風景画を描くことは外に出て、空気を吸い込み、匂いをかぎ、五感で何かを感じ、自然の一部になれ、そしてとても魅力的な時間を過ごせる機会です。風景画を描きながら、自分を忘れるくらい没頭するといった経験をぜひ、パースでしてみてください」

### Merilyn先生からの シンプルテクニック

## こんなことに注意すると上手に描ける!

○ **構図を決める** ○ ダンボールを用意し、画用紙を形取った穴を空け、そこから景色を覗いてみましょう。自分が描きたい構図が見えてくるはずですよ。

○ **遠近感を出す** ○ 遠近感を出すためには、画用紙の手前に描かれるだろう近くにある木や草などを詳細に書き込み、遠くの空や山などはソフトに描いてみましょう。

○ **色の統一** ○ 色には、似たような色がたくさんあります。そこで色の選択で悩まずに、例えば数ある青系統の色の中から1つ、赤系統の中から1つ、といった具合で主要な色を選択して、まずは描いてみましょう。

○ **デジタルカメラ** ○ 風景とは、時間ごとに変わっていくものです。カメラで撮っておき、描きたかった風景を写真で確認できるようにしておきましょう。